

熊本市ふるさと応援寄附金支援業務受託候補者選定委員会 審査基準

項目		評価の基準	配点
(1) 業務内容の理解度	① 業務内容の理解度	基本仕様書に定められた業務内容を理解しているか。	20
(2) 事業の発展性	② 課題抽出及び課題解決に向けた方策の妥当性	・本市の現状を分析し、課題を抽出・明確化した上で、提案された事業の実施方針が寄附額増につながるものであるか。また、実施方策は実現できる提案となっているか。	60
(3) 事業の安定性	③ 業務遂行能力	・多くの寄附に対し、確実に業務を履行することが可能か。 ・業務全体の管理監督を一元的に担う責任者が配置され、かつその体制が確実に機能するものとなっているか。また、全体の責任者及び部門責任者以外の人員が十分確保できるか。 ・現地対応が必要な場合などに問題なく対応できる体制が構築されているか。	50
	④ システムの利便性	寄附情報の管理、寄附者対応や返礼品の発注及び発送管理が十分にできるシステムとなっているか。	20
	⑤ システムの障害発生時の対応	データのバックアップ等、障害発生時の対応は十分か。	10
	⑥ 個人情報保護・情報セキュリティ確保	個人情報を含め、情報管理に必要な措置が講じられているか。	10
(4) 費用	⑦ 委託料	配点×（提案者のうち最低価格÷提案者の提案価格） ※価格については、本市における契約期間中の目標額 78 億円に、提案者の見積書の基本委託料率を乗じた値とする。	10
(5) 独自提案	⑧ 独自提案	基本仕様書に定めのない独自提案や、自社ならではの強みなどで、熊本市のふるさと応援寄附金事業に有益であると考えられる提案があるか。ただし、提案限度額の範囲内で行うものとする。 ※独自提案が無い場合、本項目は 0 点とする。	20
合計			200